

平成28年度事業報告書

平成28年 4月 1日から 平成29年 3月 31日まで

特定非営利活動法人キドックス

1 事業実施の方針

<プログラムの質と成果の向上 若者編>

・支援や情報が行き届いていない利用者へのアプローチ事業として、新たに訪問支援、短時間ボランティアプログラムを企画検討し、開始する。ご本人への直接支援が難しい場合に、ご家族への支援プログラムとしてクラフトを企画検討し、開始する。

- ・2016年10月～中間的就労のプログラム「イヌモク工房」を開始。
- ・上記をすべて統合し、若者の心身の段階に合わせて徐々にステップアップできるよう、「クラフト・訪問→ゆるボラ→いぬのいえ→イヌモク工房→一般就労・進学」という流れを作った。
- ・危機管理体制の見直しを行い、ヒヤリハットや朝礼時共有事項等をプログラムに組み込んだ。

<プログラムの質と成果の向上 保護犬編>

・新たにプログラムへ参加する保護犬の導入テストの内容の見直しを行い、テスト時～プログラム実行時において事故を未然に防ぐ体制を強化。

- ・犬専用ルールを作り、利用者・職員間での共有、ルール張り出しを行う。
- ・保護犬のアセスメントシートの内容の修正と、実行体制を改善した。
- ・ドッグシェルター化については、助成金を申請し取得する。

<収入財源の強化>

・チャリティグッズ工房で、新規商品の製作とイベント出展での物販を行う。

・助成金は2件取得し、1つは新しいドッグラン作り（茨城県大好きいばらき地方創生応援事業）を行い、もう1つは施設の改築（ウッドデッキや水道や電気設備など）やドッグシェルター設備等を行う助成金を取得する（後者は2017年度に実行予定。JT NPO 助成事業 2017）。

<職員の労働環境改善>

- ・プログラムのマニュアルルールブックの作成を進める。

<職員の人材育成>

- ・これまで不定期で必要に応じて行っていた職員の朝礼終礼を義務化。
- ・資格取得の支援を行い、1名がキャリアコンサルタントを取得、1名が産業カウンセラー取得。
- ・月1回の成果進捗確認ミーティングと、月2回のプログラムのケース検討を行う会議を実施。
- ・9月に職員の合宿を行い、ビジョン共有、目標設定、クレドの作成などを行う。

<子ども達への道徳教育活動>

- ・2016年度は若者自立支援事業に注力したため実施せず。

<その他>

- ・パンフレットの全面リニューアルを行い、利用者向けと法人概要の2種類を作成した。
- ・広報活動に注力し、地域の諸機関との連携・ネットワーク作り、パンフレット設置の営業などを行った。
- ・電通様主催のソーシャルポスター展に選出され、当会活動のポスターを作成していただいた。

2 事業の成果

主に、以下の事業を実施した。

- 引きこもり・不登校の若者向けの自立支援・就労支援事業の実施
- 保護犬の家庭犬トレーニングや心身のケア、保護犬譲渡促進事業
- 講演活動、啓発活動など

■ 2016年度の利用者数・犬頭数

2016年度(2016/4/1-2017/3/31)成果

人	総利用者実数 (単発利用者/親族利用者含む)	19名
	定期利用者実数 (単発利用者/親族利用者含まない)	6名
	延利用者数 (定期利用者のみ)	552名
	進路決定者数	1名
	進路決定率	17%
	犬	総トレーニング数
	総譲渡数	2頭

■ 2013年5月1日～2017年3月31日 までの約4年間の集計

開始時(2013/5/1)から現在まで (※一般向けプログラムのみ集計)

人	総利用者数	74名
	定期利用者数	16名
	延利用者数	1619名
	進路決定者数	9名
	進路決定率	56%
犬	総トレーニング数	18名
	総譲渡数	14名

※ 年度別集計のため、プログラム成果にタイムラグが生じるため（例えば、プログラム参加した翌年に就労決定等）過去の年度も含めた集計を掲載しています。

■ 2016年度の事業別の活動実施回数・利用者数

事業名	活動カテゴリ	実施回数(回)	利用者合計(人)
若者たちの自立支援・職業 訓練事業/捨て犬の保護や 譲渡を促進する事業	自立支援いぬのいえ	196	19
	就労支援イヌモク工房	20	3
/捨て犬の保護やケア活動 を行う他団体のサポート 事業	フリースペース	12	不特定多数
	お手紙会員	42	9
	交流イベント	3	42
	セラピードッグ訪問	4	200

	ひきこもり相談員/事例検討会 /地域連携会議	8	7 (相談受付)
	犬の譲渡会	2	不特定多数
	特別講座	2	11
捨て犬の保護や譲渡を促 進する事業	飼い主啓発活動/動物保 護団体のサポート活動	5	106
子ども達への道德教育・動 物愛護教育・自立支援教育 事業	動物介在活動	0	0
若者自立支援ドッグプロ グラムの企画・運営・コン サルティング事業/若者自 立支援ドッグプログラム	講演会	7	238
広域的普及のための啓発 活動及び講演事業	取材・見学対応	毎月随時	45
	啓発イベント/交流会等	4	不特定多数

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位： 千円)
捨て犬の保護や 譲渡を促進する 事業	保護犬に家庭犬トレーニングを行い、里親家庭を見つかりやすくする。また、譲渡会を企画運営した。	(A)週4回 (B)キドックス ファーム (C)4人	(D)犬をこれから飼いたい 全ての世帯 (E)不特定多数	1000

捨て犬の保護やケア活動を行う他団体のサポート事業	犬を保護している動物愛護団体と協力し、その団体の保護犬に家庭犬トレーニングを行うとともに、譲渡会を実施した。	(A)週4回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)犬を保護している愛護団体の方々 (E)2団体	0
若者たちの自立支援・就労支援事業	保護犬の世話やトレーニング、畑作業、造園、木工製作等を通じて、ひきこもりや不登校の若者へ自立支援・就労支援を行った。	(A)週4回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)ひきこもりや不登校の若者15歳～39歳 (E)別表に記載	2890
子ども達への道徳教育・動物愛護教育・自立支援教育事業	学童期～高校生の子供達が、犬を通じて命の大切さを学べる教育プログラムを実施した。(※今年度は実施せず)	(A)なし (B)各教育機関やキドックスファーム (C)なし	(D)学童期～高校生の子供もたち (E)0人	0
若者自立支援プログラム企画・運営・コンサルティング事業	ドッグプログラムをみたい・興味があるという方へのコンサルティングや見学受け入れ	(A)毎月随時 (B)キドックスファーム (C)1人	(D)活動に興味がある全ての人 (E)45人	0
若者自立支援プログラム広域的普及のための啓発活動及び講演事業	ドッグプログラムの具体的内容や成果・実績についての講演会の実施、新聞・ラジオ・テレビ等メディアからの取材の受け入れ	(A)年10回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)活動に興味がある全ての人 (E)不特定多数(視聴者等含め)	26

(2) その他の事業
実施せず

以上